

日韓学術文化交流プログラム（オンライン）の記録

1. オンライン交流概要

【目的】日韓双方で選抜された若手教育関係者が両国の教育の最新課題に関する講義聴講及び意見交換等を通し、両国の協力・友好関係について理解を深め、広く対外発信することにより、両国の協力関係の重要性を広めることを主目的とする。

【参加者】日韓両国の教育関係者 40名

【日程】

日にち 訪問地	内容	参加者の質問・反応（参加者の人数 実績）
1回目 10月30日 福島県、栃 木県、茨城 県、埼玉県 東京都、大 阪府、福岡 県	<p>【オリエンテーション】</p> <p>【テーマ関連講義・質疑応答】</p> <p>「韓国の小（初等）・中・高教育の未来と展望」</p> <p>講師：世宗市教育監 チェ・キョジン 氏</p> <p>①講義 ②質疑応答</p> <p>【視察・意見交換】</p> <p>①グループ別に各自の所属校及び教育活動を紹介</p> <p>②紹介された内容について意見交換</p>	<p>講義では、韓国の最新の教育課題が取り上げられ、日本の教育課題との共通点・相違点等に関する質問があった。</p> <p>グループ別交流では、両国の参加者が所属校周辺地域の様子、施設や授業、課外活動等の様子を紹介したことで、相手国への関心が高まった。（参加者：40名）</p>
2回目 11月6日	<p>【テーマ関連講義・質疑応答】</p> <p>「日本の新学習指導要領について」</p> <p>講師：文部科学省初等中等教育局教育課程課教育課程企画室企画係長 河野大和 氏</p> <p>①講義 ②質疑応答</p> <p>【交流・意見交換】</p> <p>①教育活動・教育課題に関するテーマ発表</p> <p>②発表内容について意見交換</p>	<p>講義では、日本の新学習指導要領に関する新たな取組事例が紹介され、事例に関する多くの質問が上がった。</p> <p>グループ別交流では、参加者が教育に関するテーマ発表を行った。日韓で共通する教育課題が多く取り上げられ、意見交換を通し、相互理解を深めた。（参加者：40名）</p>
3回目 11月13日	<p>【交流・意見交換】</p> <p>①「日韓間の教員共同宣言または今後の学校交流計画案等策定」について意見交換</p> <p>②発表準備</p> <p>【成果報告会】</p>	<p>総括として、本プログラムで得た参加者同士のつながりを今後どのように継続させていくかをテーマとした意見交換を行い、両国の協力関係の重要性及び継続し</p>

た交流の必要性を参加者全員で確認した。(参加者：40名)

3. 記録写真



2021年10月30日【テーマ関連講義・質疑応答】
「韓国の小（初等）・中・高教育の未来と展望」



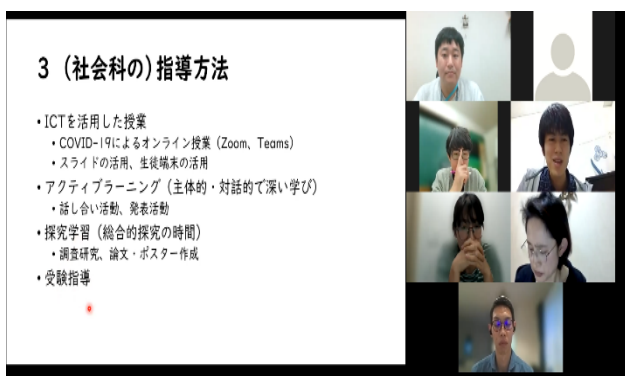
2021年10月30日【視察・意見交換】グループ別交流（各自の所属校及び教育活動紹介）



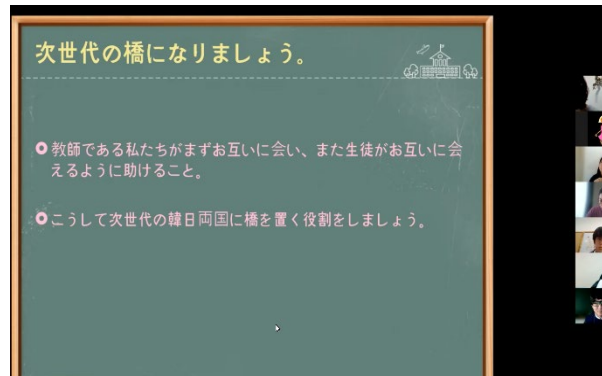
2021年11月6日【テーマ関連講義・質疑応答】
「日本の新学習指導要領について」



2021年11月6日【交流・意見交換】教育活動・教育課題に関するテーマ発表



2021年11月6日【交流・意見交換】教育活動・教育課題に関するテーマ発表



2021年11月13日【交流・意見交換】テーマ「日韓間の教員共同宣言または今後の学校交流計画案等策定」

4. 参加者の感想（抜粋）

◆ 韓国 教育関係者

日本の教育関係者と交流ができ、大変良かった。韓国と日本の両国の教育の様子を知ることができた大変貴重な機会だった。

◆ 韓国 教育関係者

大変良い経験だった。日韓関係はお互いの交流や今後の未来を切り開いていく生徒たちにかかっている。教師間の交流が生徒たちの交流へとつながっていくことで、日韓関係の問題も解決できると感じた。

◆ 日本 教育関係者

韓国の先生方が非常に熱心で感動した。日本語に堪能な方も多く、友好的な姿勢に大変驚いた。両国は複雑な歴史をもつ関係なので、実際生徒同士の交流などは難しいのではないかと、私は挑戦してみたいが相手はどうなのかと心配していたが、互いのことをよく知りたいと思われている様子が心に残った。新しい時代を作っていく生徒たちを育てる私たちにこそ必要なプログラムだと感じた。もっと互いの歴史について学んでいかなければならないと思う。

◆ 日本 教育関係者

今回出会った日韓の先生方との関係を大切に、生徒たち同士でも交流が図ることができたら面白いと思う。また、実際に対面して交流できる日を楽しみにしている。

5. 受入れ側の感想（抜粋）

◆ 韓国側主催機関関係者（韓国国立国際教育院）

オンライン交流ならではの深い交流の効果について共に認識できたと思う。オフラインでの交流が再開した際も、事前活動や事前教育の一環として、オンラインプログラムを実施した上でオフラインにつなげた方がより意味があり、効果的な交流になると思う。お互い実現できるよう、引き続き検討していきたい。

◆ 講義講師 世宗市教育監 チェ・キョジン 氏

日韓両国は共に未来に向けて跳躍しなければならないパートナーといえる。特に学生たちが切り開いていく未来は、平和と共存、相互発展の時代となるだろう。このような側面から、韓国と日本の教育関係者が出会い両国の教育の発展について共に悩み、学生たちの学びや成長を探求していくことは大変有意義なことである。

6. 参加者の対外発信、報道記事等

	
<p>2021年11月6日 (Instagram)</p> <p>日韓學術文化交流プログラム 2日目。各自の学校の教育活動や授業実例を通し、日韓両国で似ている点が多いことを感じた。</p>	<p>2021年11月6日 (Twitter)</p> <p>日韓學術文化交流プログラム 2日目は、互いに教育活動について紹介し意見交換を行った。連絡先交換を行い参加者同士が繋がった。</p>
	<p>【日韓交流】</p> <p>ひさびさの国際交流ということで、日韓學術文化交流事業訪韓団に参加しました。3日間の日程でオンライン開催でしたが、さまざまな交流ができてよかったです。研修後はLINEでもつながり、交流を続けています。これまで台湾や中国の方と話す機会はそれなりにありましたが、韓国の方との交流はあまりなかったのが新鮮でした。韓国語勉強せねば！ #日韓學術文化交流</p> <p>👍 いいね! 💬 コメントする ➦ シェア</p>
<p>2021年11月13日 (Instagram)</p> <p>名残惜しいが、全3回のプログラムが終了した。日本について理解でき、さらに関心を抱く契機となった。共に参加した日韓の参加者が直接会える日を心待ちにしている。</p>	<p>2021年11月13日 (Facebook)</p> <p>さまざまな交流ができて良かった。プログラム後もLINEでつながり交流を続けている。韓国の方との交流機会が今までほとんどなかったため新鮮だった。</p>

韓国の教育についてたくさんの方を学ばせていただきました。
教育課程、授業、学級経営、地域との交流など日本でも実践していきたいことがありました。
これからも韓国と深く教育について交流していきたいと思えます。



いいね! コメントする シェア

2021年11月13日 (Facebook)

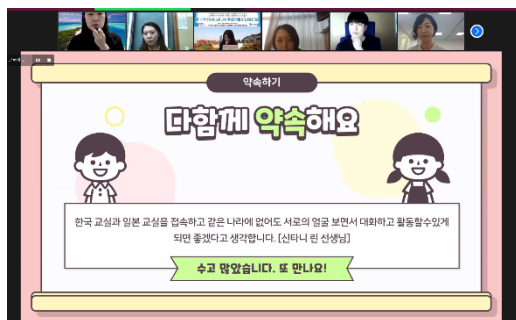
韓国の教育について多くのことを学んだ。教育課程、授業、学級経営、地域との交流など日本でも実践していきたいことがあった。今後も韓国と深く教育を通して交流していきたい。



2021年11月25日 (統一日報)

「韓日交流のさらなる拡大へ」
プログラム実施概要や、「参加した韓国の先生方を中心とした日本語のスタディグループを作りたい」という韓国人参加者の感想、「今回のプログラム経験を生徒たちに還元していきたい」という日本人参加者の感想が紹介された。

7. オンラインプログラムの成果発表



本プログラムでは、最終日に「日韓教育関係者間の共同宣言」及び「未来にむけた約束」をテーマとして成果について発表する機会を持った。発表された主な内容は以下の通り。

- ・若い世代は先入観にとらわれず良い日韓関係を築きつつある。私たちも寄り添って共に良い関係を築いていきたい。
- ・日韓の歴史をどう取り上げるか、どう教えるかは非常に難しい問題だが、今回率直に意見を交わすことができた。今後も対話を重ねていきたい。
- ・参加者同士が交流を続け、生徒同士の交流につなげていきたい。
- ・授業内での交流（社会科、外国語教育等）、姉妹校交流にも結びつけていきたい。
- ・スポーツや共通課題である環境問題やSDGsを取り入れた交流を実現させたい。

プログラム経験を基に今後も日韓間の交流を持続させたいという意見が多くあり、実際にプログラム中に授業を通じた交流も実現している。今後、参加者所属校同士の姉妹校交流の締結等、今

回の交流の発展的な成果が実現する見込みである。

実施団体名：公益財団法人日韓文化交流基金